

ヒメボタル☆ちよつとうるさい注意事項

相生山の四季を歩く会 2017.5.26

1	すべります、つまずきます 「悪路」に注意 杖(ストック・雨傘)お勧め	・むき出しの道は丸いごろごろ石とザラザラ砂、 ・数百万年の昔、この辺り一帯(=名古屋東部丘陵)は 水底や水辺だったそうです。[東海湖、古木曾川]説	腐葉土、水を透す層、透さない地層。 ヒメボタル幼虫の餌になる陸貝などの 小さな動物が生息する条件。
2	路の中心を歩いてください	・もともとはヒメボタルの生息域です。 人間は後からそこへ入ってきて、住んだり、耕したり 「観察・観賞・見物・撮影」しようとしています。	ヒメボタルの♀は後ろ羽根が退化して 飛ぶことができないそうです。 踏んでしまうことのないように。
3	灯りは禁止(その1) 森の中では無灯が原則 着衣に白っぽい目印を	・ヒメボタルの発光は、交尾相手を探す手段 ・成虫は水だけを摂り、1週間で死滅	人工の光は、自然のいのちへの妨害 にもなりかねない。 「蛍の恋路を邪魔しないで」
4	撮影者に要注意	場所によっては「自己中な」カメラマンもいたりします。	(とりあえずは)無視してください。 機材などにぶつかって転倒しないように。
5	出会えればラッキー！！	・時期のピークはいつか、誰にもわかりません。 ・深夜になれば出現数は多くなるようです。	花暦、終わりの「クリ」は匂い始めてます。 異常気象、経済活動など人的要因増加
6	灯りは禁止(その2)	夜の森歩き。いつもと違う体験を！	ワクワクしたり、どっきりしたり・・・